平成 23 年度　特別　情報セキュリティスペシャリスト試験　採点講評

午後Ⅱ試験

問１

問 1 では，メールシステムの情報漏えい対策の強化を題材にして，電子メールに関する知識，設計能力及び Web サーバの情報セキュリティ対策について出題した。全体として，正答率は想定どおりだった。

設問 2 は，正答率が高かった。メールのオープンリレーに関する理解が高いことがうかがわれた。

設問 4(2)は，正答率が低かった。問題中の記述と図表をよく読めば正答を導けるはずである。メールシステムの設計においては，メール機能以外の条件も考慮する必要があることを理解しておいてほしい。

設問 4(5)は，エンベロープについての言及がない解答が目立った。SPF（Sender Policy Framework）は迷惑メールに対する有効な対策である。SPF の仕組みをよく理解しておいてほしい。

設問 5(2)は，情報漏えい対策として，情報システム部が行うべき運用方法についての解答を求めたにもかかわらず，機能を述べた解答が目立った。設問をよく読み，求められていることを理解した上で解答してほしい。

問２

問 2 では，無線 LAN や Web アプリケーションに関する技術的対策や，PDCA サイクルに代表されるマネジメント面での対策を題材にして，企業における情報セキュリティ監査対応について出題した。全体として，正答率は低かった。

設問 1(1)は，正答率が低かった。平成 15 年に経済産業省の情報セキュリティ監査制度が開始されてから既に 8 年が経過しているが，受験者の知識がまだ不十分であることがうかがわれた。

設問 4(2)は，HTTPS と HTTP でクッキーを使い分けるという解答や，全てのページを暗号化するという解答が多かったが，それに加えて HTTPS で利用するクッキーに secure 属性を付与することまで踏み込んだ解答は少なかった。セッション管理は Web アプリケーションの技術的セキュリティ対策において重要な要素なので，代表的な対策についてよく理解しておいてほしい。

設問 5(2)は，管理策を策定するプロセスについての解答を求めたにもかかわらず，管理策を策定した後の実施状況の確認や内部監査について述べた解答が目立った。設問をよく読み，求められていることを理解した上で解答してほしい。